

「富富富」栽培特報



1 「富富富」の生育状況

今年の「富富富」は、近年（過去5年間の平均）並みに生育しており、幼穂形成期（幼穂の長さが2mmとなった頃）は7月12日前後とみられます。

草丈や㎡当たり茎数、葉色は、おおむね近年並みに推移していることから、適切な水管理を行うとともに、的確な穂肥施用や病害虫防除を行い、品質の高い「富富富」生産に引き続き取り組みましょう。

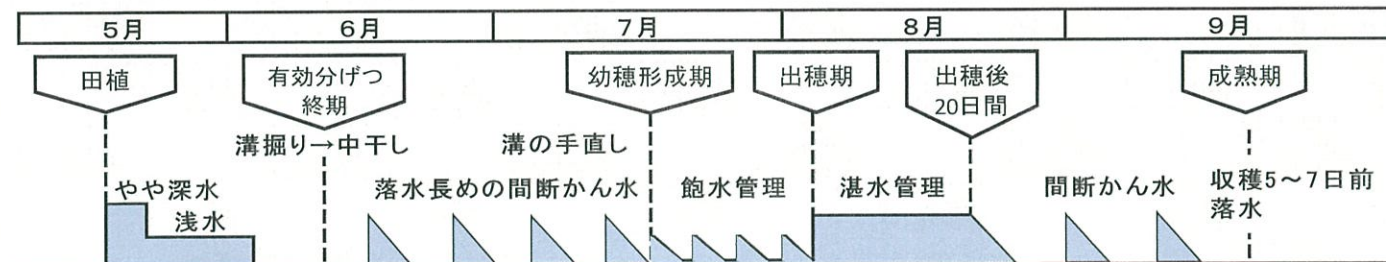
表 「富富富」の生育状況（魚津市栽培実証ほ 7月11日調査）

年次	田植月日 (月日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (葉)	葉色		幼穂形成期 (月日)
			株当たり	㎡当たり		葉色版	SPAD	
今年	5月18日	67.1	29.4	578	11.8	4.2	36.9	(7月12日)
昨年	5月11日	74.3	24.6	488	12.3	4.2	36.0	7月8日
近年	5月10日	63.8	26.1	547	12.0	4.1	36.9	7月10日

※近年は平成30年～令和4年の5年間の平均値
※「今年」の幼穂形成期は7月11日時点の予想のため、括弧で記載している

2 水管理

《水管理のイメージ》



①幼穂形成期～出穂期

・幼穂形成期以降は、足跡に水が残る程度の「飽水管理」に切り替えますが、葉色が濃いほ場（4.0以上）は引き続き「間断かん水」を継続しましょう。

②出穂期～出穂後20日間

・出穂期から20日間は、稲体の活力の維持とカドミウム吸収抑制のため、「湛水管理」を徹底しましょう。

3 穂肥の施用

①「富富富専用肥料」（基肥一発肥料）を施用したほ場

穂肥は、原則として施用しないでください。

ただし、出穂の1週間前の葉色が4.2より薄い場合は追加穂肥を行いましょ

【追加穂肥の目安】

施用時期（目安）	肥料名	10a当たり施用量
出穂1週間前 (7月27日頃)	追肥3号	7kg

栽培基準を守って、高品質で美味しい「富富富」の生産を！

②分施栽培（BB206号+追肥3号）の場合

幼穂長や葉色を確認し、適正量を施用しましょう。

【1回目】

施用時期（目安）	幼穂長	葉色	肥料名および施用量
7月20日頃	1.5cm程度	4.0	追肥3号 5～7kg/10a

【2回目】（1回目の1週間後）

施用時期（目安）	肥料名および施用量
7月27日頃	追肥3号 10kg/10a

※ほ場によって生育の進みかたが違うので、幼穂の長さを確認してから施用しましょう。

※幼穂形成期の葉色が4.0（砂壤土 4.2）より濃いほ場は、1回目は施用せず、2回目の時期に1回のみ穂肥施用をしてください。

4 病害虫防除

6月29日に調査したところ、雑草地の斑点米カメムシ類を確認した地点の割合は近年より高くなっています。（今年：70.8%/近年：62.4%）

カメムシ類による斑点米の発生を防ぐため、適期に防除を実施しましょう。
※畦畔の雑草にも斑点米カメムシ類がいるので、畦畔にも薬剤がかかるように散布しましょう。

散布間隔は7日間が目安です。（10日以上間隔をあげないようにしましょう）

【基本防除の目安】

剤型	防除時期	農薬名	散布量 希釈倍数 (10a)	使用基準 (収穫前日数)	成分数
粉剤	穂ばらみ期	モンセレン粉剤 DL	4 kg	21 日前まで	1
	穂揃期 (8割出穂)	ラブサイドスタークル粉剤 DL	4 kg	7 日前まで	2
	傾穂期 (穂揃期の7日後)	キラップ粉剤 DL	4 kg	14 日前まで	1
液剤	穂揃期 (8割出穂)	モンカットラブサイド 20 フロアブル	100% 1000倍	14 日前まで	2
		スタークル液剤 10	100% 1000倍	7 日前まで	1
	傾穂期 (穂揃期の7日後)	キラップフロアブル	100% 1000倍	14 日前まで	1

・風向きと風力、散布量などに注意し、周辺の作物や住宅地などへの飛散防止に努めましょう。

・農薬は基準量を守って使用し、栽培履歴にしっかり記帳しましょう。

・畦畔やほ場周辺の雑草地の草刈りは、本田防除前に終えましょう。また草刈り後はできるだけ雑草の穂が出ないように管理しましょう。